

上野殿御返事

弘安三年八月二六日 五九歳

女子は門をひらく、男子は家をつぐ。日本国を知りても子なくば誰にかつがすべき。
財を大千にみて、も子なくば誰にかゆづるべき。されば外典三千余巻には子ある人を
長者といふ。内典五千余巻には子なき人を貧人といふ。女子一人、男子一人、たとへば
天には日月のごとし。地には東西にかたどれり。鳥の二つのはね、車の二つのわなり。
さればこの男子をば日若御前と申させ給へ。くはしくは又々申すべし。

八月二十六日

日 蓮 花 押

上野殿御返事